

市民活動状況
(10月末日現在)

市内NPO法人数	31 団体
当センター登録団体数	134 団体
来館者数	1,092人
印刷機利用枚数	41,422枚

ひびき



発行枚数 650枚 メール配信 100団体

発行人 指定管理者NPO法人茨城県南生活者ネット 龍ヶ崎市市民活動センター長 島村宏之

龍ヶ崎市市民活動センターは社会貢献活動を行う団体を支援するための施設です。
会議スペース・作業スペース・印刷機・紙折り機・パソコン・多目的室等(1階)や
大会議室・小会議室・パソコン室・和室・工作室(2階)・陶芸室(1階外倉庫隣り)がご利用いただけます。
開館時間 = 午前9時～午後7時(日曜祝日は午後5時まで)2階各室は夜間も(午後10時まで)利用可能です。
休館日 = 月曜日および年末年始、特別に定める日
〒301-0004 龍ヶ崎市駒馬町2445 TEL 0297-63-0030 / FAX 0297-63-0571
E-mail katsudou@r-shimin.sakura.ne.jp URL <https://ryugasaki-shiminkatsudo.net>



市民団体活動紹介シリーズ No.27「アンサンブル花音(かのん)」

目指せ！市民活動日本一

クラシック音楽、ポピュラー音楽などの演奏を中心に活動している弦楽アンサンブルです。

大人からヴァイオリンなんて…とあきらめている方はいませんか？

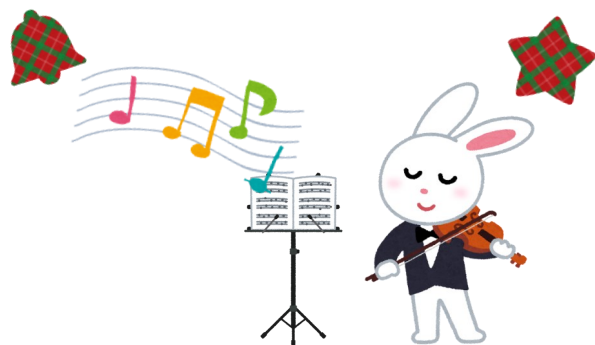
花音のメンバーは全員大人になってから始めたツワモノ揃いです(笑)

2009年の発足からはや14年！上達は亀の歩み(汗汗)のごとくですが、地道に、なによりも基礎を大切に。のんびりゆるゆる、時々自分たちの情けない音に大笑いしながらも、音楽が大好きな仲間と共に音楽を奏でる楽しさを味わっています。

主にアンサンブル研究会、発表会、施設訪問演奏などの活動をしています。



- ・活動日：月2回日曜(不定期)午前中(グループレッスン有り)
- ・メンバー：ヴァイオリン5名、チェロ1名(50代から70代の幅広いメンバーです。)お若いお仲間も募集中！ぜひ、お気軽に見学にお越しください。
- ・問合せ 亀高 証 TEL090-2904-5953



りゅうがさき市民活動フェアinサプラスクエア2024開催のお知らせ



りゅうがさき市民活動フェアinサプラスクエア サプラ2024

日時：2024年 2月17日(土)18日(日) 11時～16時

会場：ショッピングセンターサプラ フェスタコート・光のモール



地域の担い手として活躍している市民活動団体や高校生の活動を一堂に会して紹介します。

パネル展示をはじめステージ発表(楽器演奏・歌・ダンス等)や活動体験・福祉団体による手づくり品の販売コーナーなど盛り沢山です。

高校のチア リーディング部、吹奏楽部、Kポップダンスのステージもあります。

まちづくり講座「矢中家住宅(矢中の杜)の保存活用～“矢中の杜”の守り人の活動紹介～」のご報告

11月12日(日曜日)、つくば市北条の重要文化財「旧矢中家住宅(矢中の杜)」の保存活用に取り組んでおられる、NPO法人“矢中の杜”の守り人の事務局長、中村泰子氏を市民活動センターにお招きし、保存活用についてお話をいただきました。

主催、龍ヶ崎市市民活動センター、比較住宅都市研究会、NPO龍ヶ崎建物保存会。

参加者はスタッフを含め18名及びネット参加者4名。特に伝統的建造物の保存活用に関心のある方がたくさん参加されました。

お話の概略は次の通りです。

旧矢中家住宅は矢中龍次郎が建てた実験的和風建築。矢中龍次郎はつくば市北条出身の発明家で、株式会社マノールの創業者。所有者が代わったのがNPO法人“矢中の杜”の守り人の活動の切っ掛けだった。活動を長く続けるためには無理のない活動と計画が必要。地域との連携、筑波高校との連携が大切。邸内の公開は有料で「邸宅維持修繕協力金」と名付けている。守り人会員の構成は現役世代が多い。ホームページの更新は週2回必ず行い、出来るだけ若い会員に任せる。工事記録を取ることが重要。誰でも参加できる工夫をする。そして、最後は重要文化財になるまでの経緯についてお話いただきました。

以上の通り、とても1時間では説明出来ない内容ですが、事例を交えて要領よくお話いただきました。その後、質疑応答が1時間。大変盛り上がりました。

私たち龍ヶ崎の市民団体にとっても活動の参考になるお話を聞くことが出来ました。中村様ありがとうございました。



令和5年度公共施設里親団体交流会報告 10月27日(金)開催



公共施設里親団体17団体22名及び都市整備部、道路公園課、地域づくり推進課から5名、市民活動センターから3名の出席があり、活発な意見交換があり充実した交流会となった。

自己紹介後に3つの団体の活動紹介があった。①北竜台公園での「のぼさんクラブ」は一面アシ原になっていたしょうぶ池に水を入れて再生シカワセミが来るようになったことやしょうぶやすいれんの管理などの難しさについて話してもらった。②「蛇沼公園再生プロジェクト」は強風後の園内の落下枝の撤去や倒木除去、老朽化したロープ柵の更新、落ち葉を掃いてカブトムシの育成プールに入れるなど公園管理活動を紹介。③「グランレジオ花里の会」は道路清掃やマンション入口の道路沿いにサツキの一部を刈り取った後に花植えを行っている。

里親活動に関する情報交換・意見交換①助成金について:コミュニティ協議会から5万円/年もらっている団体があるが、自治会から助成金をもらおうと考えた別の団体は活動報告を書いてほしいと言われたのでやめたと報告。市からのサポート補助金を団体立ち上げに対する助成だけでなく、団体の日常活動にも助成してほしいとの意見があったが、一方ではバザー等で不用品などを売って活動費用を捻出しているとの団体の活動紹介もあった。②里親団体の活動と重ならないようにするために市で行う公園管理のスケジュールを事前に教えてほしいとの意見があったが、管理委託は地区単位で予定を組んでいるので大まかな時期しか知らせることができないと回答したところ、それでもかまわないので知らせてほしいとの要望があった。

今回の交流会の感想について:自己紹介の中で各団体の活動報告を詳しく聞きたかったので次回はそうしてほしいとの要望があった。次回もこうした交流会を開催してほしいとの要望があり、市で検討することになった。



龍ヶ崎短歌会

快拳なり男子バレーの技冴えてパリへの切符獲得したり

小嶋 知葉

早朝の草刈り終えて月見草一輪挿しに季節を楽しむ

越澤 太郎

※前回訂正 ← 深緑に囲まれ一人住む我を励ましてくれる種々の囀り 岡田 さち子